

建築科だより vol.5

カームダウンスペースの研究開発

建築科3年生6名が、課題研究の授業でカームダウンスペースを設計・施工し、公共施設への設置を目指しています。

課題研究とは、社会や地域の課題や問題に対して、今まで学んできた建築の知識や技術を活かしながら解決を目指す研究授業です。

カームダウンスペースとは、精神的にパニックになった際、冷静になるためのスペースのことです。近年では、東京五輪を機にカームダウンスペースとして、駅や空港など多くの施設に設置させることが多くなり、関西万博でも設置される予定です。本生徒は、出雲市内にカームダウンの設置している施設がないため、カームダウンを必要とされている方に提供したいと考え、本研究を行っています。

また、この活動には、ナカバヤシ株式会社、帝国器材株式会社、島根県林業課、出雲市役所、島根県建具組合の方々と連携し、設計・施工・設置までご指導、ご助言をいただいております。

今回は関係者が集まり、カームダウンの設計やデザインについて協議し、生徒の提案に対して多くの助言をいただきました。生徒は、今回の協議を元にさらに設計やデザインを高めていく予定です。

